

No. 521
2014年
12月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03)3851-6100 Fax (03)3851-6055
http://www.orsj.or.jp/

2015～2016年度役員選挙日程

OR学会における2015～2016年度役員（理事、監事）選挙（信任投票を含む）は、2015年2月10～21日に名誉会員、正会員による郵送投票の予定です。ただし、改選数と候補者数が同数の場合、無投票になることがあります。

● 2015～2016年度 役員候補者ご推薦のお願い

役員規程に従って2015～2016年度の役員を選出を行います。つきましては、候補者のご推薦をお願いいたします。

- ・推薦者は、名誉会員または正会員5名以上とし、ご本人の同意を得たうえでご推薦ください。
- ・会務の分担ごとの選挙のため、下記推薦届の□に✓を入れてください。
- ・推薦届締切：2014年12月末日（封書にてお送りください。）
- ・推薦届郵送先：OR学会事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
役員選挙管理委員会 監事 高木英明, 桑畑暁生

..... 切 り 取 り 線

2014年 月 日

役員候補者推薦届

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿
2015～2016年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 副会長（2名） | <input type="checkbox"/> 庶務理事 | <input type="checkbox"/> 国際理事 | <input type="checkbox"/> 研究普及理事（研究） |
| <input type="checkbox"/> 編集理事（機関誌） | <input type="checkbox"/> 支部理事 | <input type="checkbox"/> 無任所理事（本部所属） | <input type="checkbox"/> 監事 |

_____ 氏を推薦いたします。

推薦代表者：_____ ㊟（所属：_____）

_____ ㊟ _____ ㊟

_____ ㊟ _____ ㊟

候補者略歴（100字程度）

上記の推薦に同意します。候補者 _____ ㊟（所属：_____）

● 日本OR学会各賞候補者ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、普及賞、実施賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

推薦受付中の締切日は以下のとおりです。

1. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：

2015年1月31日

2. 学生論文賞：2015年3月31日

推薦状は、ホームページ (<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>) からダウンロードしてご利用ください。

過去の受賞者一覧は<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award.html>に記載しています。

〔研究賞〕 昭和43年(1968年)に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。

〔研究賞奨励賞〕 若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。

被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。

授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年3名程度を表彰する予定です。

〔事例研究賞〕 ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕 2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて(非会員が含まれる場合も全員)を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。

〔学生論文賞〕 学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される

学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

(表彰委員会)

● 2015年春季シンポジウム (第73回)

日 程：2015年3月25日(水)

場 所：東京理科大学(神楽坂キャンパス)

テーマ：「これまでとこれからのOR」

実行委員長：生田目 崇(中央大学)

シンポジウムHP：http://www.orsj.or.jp/2015spring/?page_id=13

プログラム：

13:00~16:00 講演

講演者

- ・住田 潮氏(筑波大学)
- ・石井正純氏(AZCA Inc.)
- ・安田洋祐氏(大阪大学)
- ・佐々木美裕氏(南山大学)

16:10~17:40 パネルディスカッション

司会 八巻直一氏((株)ITSC代表取締役)

事前振込締切：3/14(土)

正・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

非会員の学生の事前振込みはありません。当日受付のみとなります。

*OR誌2月号綴込みの振替用紙にてお振込ください。参加費受領メールを送ります。欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集を送付いたします。

正会員特典利用：3/14(土) 締切

個人正会員(2015年度年会費納入済みの方)は、2015年春、秋シンポジウムのうち1回無料で参加できます。シンポジウムのみご参加の場合はOR学会事務局までご連絡ください。研究発表会にもご参加の場合は、2月号綴込みの振替用紙「特典利用」を○で囲み、研究発表会参加費をお振込みください。

当日受付参加費：

正・賛助会員：4,000円

学生会員：2,000円

非会員：5,000円

非会員の学生：事前振込みはなし。当日受付2,000円

* 学生の方は受付で学生証の提示をお願いします。
2015年3月に卒業・修了する方も学生として参加できます。受付当日に学生証の提示ができない場合は、3月で卒業・修了した旨お伝えください。

協賛学会：(正会員と参加費同額)

- ・公益社団法人日本経営工学会 (JIMA)
- ・社団法人日本品質管理学会 (JSQC)
- ・日本信頼性学会 (REAJ)
- ・研究・技術計画学会 (JSSPRM)
- ・一般社団法人日本設備管理学会 (SOPE-J)
- ・一般社団法人プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2015年春季研究発表会

日 程：2015年3月26日(木), 27日(金)

場 所：東京理科大学 (神楽坂キャンパス)

OR学会統一テーマ：「オリンピック・パラリンピックとOR」

発表会特別テーマ：「グローバル社会とOR」

実行委員長：矢部 博 (東京理科大学)

発表会HP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2015/>

特別講演：

- ・日本OR学会会長 大宮英明氏
- ・東京理科大学理事長 中根 滋氏
- ・近藤賞受賞者 (予定)

発表申込み：

2014年12月1日(月)～2015年1月7日(水)

学生優秀発表賞：本研究発表会では、学生による優れた発表を奨励するために、学生による研究発表のうち特に優れたものを学生優秀発表賞として表彰します。学生のみならずには奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。詳細につきましては研究発表会HPをご覧ください。

事前振込み参加費：3/14締切

正・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

* 非会員の学生の事前振込みはありません。当日受付のみとなります。

* 事前振込みはOR誌2月号綴込みの振替用紙にてお振込ください。参加費受領メールを送ります。欠席の場合、参加費の返金はできません。アブス

トラクト集を送付いたします。

当日受付参加費：

正・賛助会員：7,000円

学生会員：2,000円

非会員：10,000円

非会員の学生：2,000円

* 学生の方は受付で学生証の提示をお願いします。
2015年3月に卒業・修了する方も学生として参加できます。受付当日に学生証の提示ができない場合は、3月で卒業・修了した旨お伝えください。

登壇料：非会員のみ(学生を含む)参加費と別途2,000円/件(本学会の許可が必要)

賛助会員の方へ：

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。(事前の参加連絡は不要です。)ご参加者様については、社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りしております。

懇親会：2015年3月26日(木)

懇親会費：事前振込み5,000円, 当日6,000円

協賛学会：(正会員と参加費同額)

- ・公益社団法人日本経営工学会 (JIMA)
- ・社団法人日本品質管理学会 (JSQC)
- ・日本信頼性学会 (REAJ)
- ・研究・技術計画学会 (JSSPRM)
- ・一般社団法人日本設備管理学会 (SOPE-J)
- ・一般社団法人プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2015年秋季シンポジウム (第74回)

日 程：2015年9月9日(水)

場 所：九州工業大学 (戸畑キャンパス)

● 2015年秋季研究発表会

日 程：2015年9月10日(木), 11日(金)

場 所：九州工業大学 (戸畑キャンパス)

2014年度 第2回 ORセミナー『技術者のためのゲーム理論の基礎』

開催趣旨: 経済学を中心に社会科学において大きく発展したゲーム理論であるが、近年は理系のエンジニアや情報系の技術者にゲーム理論を学んでみたいとする者が増えている。本セミナーでは、そのような企業人を対象にゲーム理論の基礎を講義する。ゲーム理論の基礎的なチュートリアル、ビジネスにおけるゲーム理論的考え方、工学的なゲーム理論の応用例としてのマッチングとオークションの基礎的なセミナーを行う。

日時: 2014年12月6日(土) 10:00~17:00

会場: (株)構造計画研究所本所新館(地下1階レクチャールーム)

〒164-0011 中野区中央4-5-3 Tel. 03(5342)1065

東京メトロ丸の内線「新中野」駅1,2番出口徒歩約1分 <http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: 榎尾 博(東京ガス(株)) E-mail: kashio@tokyo-gas.co.jp

プログラム: (敬称略)

10:00~10:10 **開会挨拶 (セミナーの概要)** 渡辺隆裕(首都大学東京経営学専攻)

10:10~12:00 **「初歩から学ぶゲーム理論」** 渡辺隆裕(首都大学東京経営学専攻)

ゲーム理論の基礎を学ぶ。ゲーム理論とは何か、戦略形ゲーム、支配戦略、ナッシュ均衡、社会最適(パレート最適)と個別最適(ナッシュ均衡)とのずれ、2×2ゲーム、展開形ゲーム、バックワードインダクションについて学ぶ。(内容を若干変更することがあります)

13:00~14:15 **「ビジネスとゲーム理論」** 松林伸生(慶應義塾大学理工学部管理工学科)

ゲーム理論をビジネスで応用する場合に重要な点、経営戦略とゲーム理論、最適化との違いについて述べ、マーケティング、ITビジネス、サプライチェーンなどに関する意思決定の際にゲーム理論が与える示唆についても可能な範囲で触れる。(内容を若干変更することがあります)

14:25~15:25 **「マッチングとその応用」** 岩崎 敦(電気通信大学大学院情報システム学研究科)

ゲーム理論が実際に使われている工学的応用の1つとして、児童がどの学校に通うかを選択する学校選択制や研修医がどの病院で研修を受けるかを定める研修医配属におけるマッチングのメカニズム(ルール/制度)をどう設計するかという問題がある。本セミナーでは、マッチングの例を中心にメカニズムデザイン(制度設計)の考え方や安定性や耐戦略性などの概念を解説する。(内容を若干変更することがあります)

15:40~16:40 **「オークションのデザイン」** 福田恵美子(防衛大学校情報工学科)

ゲーム理論によってオークション制度を分析した研究を紹介する。セカンドプライスオークションや耐戦略性について解説した後、応用例として検索サイトで用いられている広告オークションの仕組みを説明する。さらに、二つのオークション制度を実験により比較した結果を紹介する。(内容を若干変更することがあります)

16:40~17:00 **まとめ** 渡辺隆裕(首都大学東京経営学専攻)

参加費(テキスト代込み): 正・賛助会員(協賛学会員を含む)5,000円、学生会員1,000円、学生(非会員)1,500円、非会員20,000円

*セミナーに参加した非会員は、入会金無料で入会でき、2014、2015年度の年会費は免除されます。

申込方法: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

お名前、ご所属先、正会員/学生会員/賛助会員/協賛学会員/非会員、お支払予定日を記入してメールにてお申込みください。会社宛請求書が必要な場合、その旨お書きください。

申込締切: 2014年11月28日(金)

お振込先: みずほ銀行: 根津支店(店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会: 日本経営工学会(JIMA)、日本品質管理学会(JSQC)、日本信頼性学会(REAJ)、研究・技術計画学会(JSSPRM)、日本設備管理学会(SOPE-J)、プロジェクトマネジメント学会(SPM)

*詳しくは、OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご参照ください。

● 2015年度研究部会新設および継続の申請について

研究普及委員会では、その活動の大きな柱の1つとして、研究部会・グループの設立・運営のお手伝いをしております。研究部会の設置期間は、原則として2年以内ですが、理事会の承認が得られればさらに1年延長することも可能です。部会が発足しますと財政的な補助もいたします。研究テーマは、基礎理論から実践研究までご自由にお考えいただいて結構です。

今年度活動中の研究部会・グループは以下のとおりです。詳しくは学会WEBをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/activity/sig.html>

常設研究部会	
1	待ち行列
2	数理計画 (RAMP)
3	評価のOR
4	意思決定法
5	サプライチェーン戦略
研究部会	
1	最適化の理論と応用
2	数理的手法の展開と応用
3	サービス・イノベーションへの数理的アプローチ
4	大規模インフラストラクチャーのOR
5	食べものとOR
6	不確実性システムにおける意思決定
7	複雑系とOR
8	ORにおけるゲーム理論
9	OR普及のためのモチベーション教育
10	安全・安心・強靱な社会とOR
11	確率モデルとその応用
12	公共的社会システムとOR
13	信頼性
14	ビッグデータとマーケティング分析
15	リーマンマネジメントシステム
研究グループ	
1	都市と地域のOR

申請の締切は**新設・継続ともに12月12日(金)**です。申請用紙は事務局までご請求ください。

● 研究部会・グループ開催案内

〔信頼性〕

・第6回

日 時：2014年12月6日(土) 14:25~17:30

場 所：神戸学院大学ポートアイランドキャンパスB号館1階B109講義室

テーマと講師：

- (1) 「信頼性工学における最適化研究」
仲川勇二 (関西大学)
- (2) 「過疎地におけるオンデマンドバス運行モデル」
小柳淳二 (鳥取大学)
- (3) 「Rによるソフトウェア信頼性分析：ソフトウェアメトリクスを用いた信頼性評価事例」
岡村寛之 (広島大学)
- (4) 「多状態システムに対する不完全点検の有効性」(仮題)
佐藤 毅 (神戸学院大学)

問合せ先：首都大学東京 肖 霄 (シャオシャオ)

E-mail: xiaoxiao@tmu.ac.jp

部会 URL： <http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/xiao/socialactivity/index.html>

〔OR普及のためのモチベーション教育〕〔複雑系とOR〕

・第9回合同研究部会 (観光情報学会「かが・の」と観光情報学研究会)の共同主催)

日 時：2014年12月13日(土) 13:45~17:00

場 所：石川四校記念文化交流館 (石川県金沢市広坂2-2-5)

テーマ：ORが開く観光

テーマと講師：

- (1) 「海外における観光スマートフォンアプリの現状」
沢田史子 (北陸学院大学短期大学部)
訪日外国人の受入環境整備事業の一環として観光のICT化が推進されている。本研究では、海外における観光スマホアプリと訪日外国人向けアプリとの比較を行うことにより、海外版の特徴を明らかにする。
- (2) 「日本観光の現状と北陸新幹線開業のためのICT活用」
大藪多可志 (国際ビジネス学院)

北陸は、新幹線開業を目前に控え持続的な交流人口増加策を模索中である。このとき、ICT活用による情報発信は不可欠である。観光の現状とICTによる位置情報 (G空間情報) を絡めた検証実験と具体的な戦

略について述べる。

(3) 「群知能エージェントに関する研究」

木下正博 (北海道科学大学)

生物の学習, 進化の適応メカニズムは科学者の興味の対象であるが, 自律的主体による群れを構築する方法論には解くべき問題が多く存在する。生物が有する柔軟性, 多様性, 自己組織性などを工学的なシステムとして実現する群れのエージェント技術をここでは提案する。

(4) 「ORの過去・現在・未来」

大堀隆文 (北海道科学大学)

本報告では, 日本のOR活動の中でOR教育, OR普及に焦点を絞り, OR学会を中心とした過去と現在の活動をまとめる。また今後の方向性として, (1) 魅力ある例題作り, (2) 他の分野の研究者の取り込み, などによるORの未来を議論する。

懇親会: 山中温泉白鷺の湯「たわらや」(加賀市山中温泉東町)

問合せ先:

OR普及のためのモチベーション教育

主査 大堀隆文 (北海道科学大学)

E-mail: oohori@hus.ac.jp

幹事 加地太一 (小樽商科大学)

E-mail: tkaji31@gmail.com

複雑系とOR

主査 木下正博 (北海道科学大学)

E-mail: kino@hus.ac.jp

幹事 西川孝二 (北海道科学大学)

E-mail: nishikawa@hus.ac.jp

【待ち行列】

・第251回

日時: 2014年12月20日(土) 14:00~17:00

場所: 東京工業大学大岡山キャンパス西8号館
(W) 809号室

テーマと講師:

(1) 「歩行距離・排除体積効果を導入した待ち行列モデルとその応用」

柳澤大地 (東京大学)

(2) 「人が介在する逐次的意思決定と人の選択行動のモデル化」

恐神貴行 (IBM東京基礎研究所)

問合せ先: 井家 敦 (神奈川工科大学)

E-mail: inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp

部会URL: <http://www.orsj.or.jp/queue/>

【不確実性システムにおける意思決定】

・第10回

日時: 2014年12月20日(土) 14:00~17:00

場所: サムティフェイム新大阪

〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-5-3

新幹線「新大阪」駅より徒歩9分, 地下鉄御堂筋線「西中島南方」駅より徒歩4分, 地下鉄御堂筋線「新大阪」より徒歩6分, 阪急京都線「南方」駅より徒歩5分
テーマと講師:

(1) 「計算知能を用いた多目的逐次近似最適化法」

尹 禮分 (関西大学)

工学設計のような実問題は評価関数が複数個ある多目的最適化問題として定式化され, また数値解析や実験などによって設計変数の各値に対する目的関数の値が求まることが多い。本講演ではなるべく少ない解析・実験数で意思決定者の満足のいく解を見つけるための, 関数近似ベースの多目的最適化法について紹介する。

(2) 「ネットワーク上の探索ゲームとその周辺」

菊田健作 (兵庫県立大学)

有限連結ネットワーク上で, 探索者によるノードの調査費用およびノード間の移動費用を考慮した探索ゲームについて研究の状況を説明する。また, 今後の検討課題を述べる。あわせて関連する探索問題や応用の可能性について述べる。

懇親会: 研究会終了後, 17:30を予定,

居酒屋 魚人 (ぎょじん)

西中島店, 大阪市淀川区西中島3-13-11

TEL: 06-6304-4710, 費用: 6,000円程度

問合せ先: 幹事 小出 武 (甲南大学)

E-mail: koide@konan-u.ac.jp

部会URL: <http://koide.ii-konan.jp/or/>

【意思決定法】

・JSAHP2015 (Japanese Symposium on Analytic Hierarchy Process)

T. L. Saaty教授が提案したさまざまな問題を解決する意思決定支援モデルのAHP (Analytic Hierarchy Process) は, 日本において木下栄蔵教授を中心とした研究グループにより効用理論の考え方を取り入れ支配型AHP, 一斉法として発展しています。日本でのAHPシンポジウムであるJSAHP (Japanese Symposium on Analytic Hierarchy Process) を2012年に続き, 2015年9月6日に開催します。

日時: 2015年9月6日(日) 10:00~

場 所：日本大学桜門会館（予定）

主 催：日本OR学会意思決定法常設研究部会

プログラム

・オープニングセッション：10:00～12:20

10:00～10:10

開会のあいさつ 西澤一友（日本大学）

10:10～11:10

基調講演

「サービス価値計測手法としての支配型AHP」

木下栄蔵（名城大学）

11:20～12:20

招待講演

「感性工学とAHP」長沢伸也（早稲田大学）

・一般発表：13:30～

・懇親会：17:30～19:00

参加費

10,000円（一般発表の抽象集（当日配布）、懇親会費、論文集（翌年発行、郵送）を含む）

一般発表申込

・締切：2015年6月30日

・書式：MS-WordにてA4一枚にすべて英文で、発表題目、名前、所属、e-mail、1,000 words以内の抽象集を記入し、Wordの添付ファイルとして：E-mail: jsahp@urban.meijo-u.ac.jp に申込んでください。スタイルファイルはHPよりダウンロードしてください。

発表方法

当日の発表は英語もしくは日本語（パワーポイント等は英語）とします。発表会場に液晶プロジェクタおよびコンピュータを用意いたしますので、パワーポイント等の入ったメディアを用意してください。

論文集の発行

一般発表者に論文を投稿していただき、審査により選りすぐったものを論文集として発行します。

フルペーパー締切：2015年10月末 Wordまたはpdfファイル

論文集出版

2016年1月下旬

*詳細はシンポジウム当日連絡しますが、発表から締切まで日数が少ないので早めに投稿準備をしてください。スタイルファイルはホームページよりダウンロードしてください。

JSAHP2015実行委員会

実行委員長：西澤一友（日本大学）

実行副委員長：木下栄蔵（名城大学）

実行副委員長：田地宏一（名古屋大学）

プログラム委員長：杉浦 伸（名城大学）

プログラム副委員長：法雲俊榮（大阪商業大学）

プログラム委員：水野隆文（名城大学）

国内広報委員長：大屋隆生（国士舘大学）

国内広報副委員長：小澤正典（慶應義塾大学）

国際広報委員長：佐藤祐司（中京大学）

国際広報副委員長：飯田洋市（諏訪東京理科大学）

JSAHP2015URL：<http://www.urban.meijo-u.ac.jp/zshinsu/JSAHP2015.htm>

● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、主催学会の会員と同じ費用で参加できる場合があります。詳しくは、各学会にお問合せください。

・第5回世界工学会議 WECC2015

World Engineering Conference and Convention 2015

日 程：2015年11月29日(土)～12月2日(水)

場 所：国立京都国際会館

主 催：公益社団法人日本工学会

URL：<http://www.congre.co.jp/wecc2015/ja/index.html>

● 新入会員（2014年10月理事会承認分）

—正会員—

杉木 貴文	(株)インテック〔中部支部〕
橋本 仁	秋田大学〔東北支部〕
飯塚 博幸	北海道大学〔北海道支部〕
高谷 敏彦	仙台環境開発(株)〔北海道支部〕
金 路	電気通信大学
加藤木 健	日本IBM(株)
胡 明	京都情報大学院大学〔関西支部〕
平尾 将剛	愛知県立大学〔中部支部〕
阿久津 博康	防衛研究所

—学生会員—

斉藤 雅俊	南山大学大学院〔中部支部〕
安江 直也	南山大学〔中部支部〕
岡本 ゆきえ	筑波大学
菱沼 和弘	明治大学
今野 陽子	北海道大学〔北海道支部〕

邱 明月	福岡工業大学〔九州支部〕
小原 慎平	金沢大学〔東北支部〕
鄭 光植	長崎大学〔九州支部〕
木村 透真	北九州市立大学〔九州支部〕
福永 桃子	北九州市立大学〔九州支部〕
曲 元	長崎大学〔九州支部〕

*支部表記のない方は本部所属です。

2015年度年会費納入のお願い

2015年度年会費の請求書を12月に発送いたします。納入期限は2015年1月末までです。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名/法人名/法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書/見積書/納品書、指定用紙など）。*年会費の口座自動振替の方（正会員のみ）は、2015年1月20日に引き落としとなります。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 2014年度学生会員の方については、10/10締め切りで学生証pdf送付により確認しています。

2014年度年会費無料会員対象の方は、引き続き2015年度も年会費無料対象となります。

学生会員から正会員への変更

学生会員はその年度当初（3月1日現在）に学生であることが条件（ただし、入会が4月以降の場合は、入会時点で学生であることが学生会員の条件）ですので、ご卒業やご就職により、2015年4月から社会人になる場合でも、2016年2月末までは学生会員扱いとなります。

2016年度（OR学会事業年度は3月～2月末です。）より正会員となります。正会員年会費14,400円を2015年11月以降に請求させていただきます。

なお、ご卒業やご就職による「住所・所属先・OR誌郵送先の変更」や「退会希望」については必ず事務局にご連絡ください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請/承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

学会事務局までお問い合わせください。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。

学会事務局までお問い合わせください。

メーリングリスト登録のご案内

OR学会ではメーリングリストを開設し、本学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナーなどの催しに関する広報機能としてご利用いただいています。

新規にOR学会のご入会の方、未登録の方は、ご登録くださいますようご案内申し上げます。

アドレス変更の場合、ご自分で新アドレスの参加登録、旧アドレスの脱退手続きが必要です。OR学会会員情報の変更届けとは連動しておりませんので、ご注意ください。

詳しくは、学会WEBのメーリングリスト利用の手引きをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>

年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員 14,400 円,
 学生会員 5,000 円,
 シニア会員 7,200 円

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リ
 サーチ学会

ゆうちょ銀行：東京 00190-6-79492
 みずほ銀行：根津支店（店番号 235）普通 1124744

*手数料は払込人負担をお願いいたします。
 *お名前はフルネームでお書きください。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5
 サン・チカビル 7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。
 （住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先／
 学生会員→正会員への変更／退会届）
 会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。

学会事務局年末年始休業のお知らせ

2014年12月29日(月)～2015年1月3日(土)